



木協インフォメーション

平成27年 5月号

(一社) 香川県木材協会・香川県木材産業協同組合

TEL 087-881-9343

<http://www1a.biglobe.ne.jp/k-mokkyo/>

木材協会・木材産業協同組合の通常総会は、5月23日に開催

4月24日に高松市で、木材協会・木材産業協同組合の合同役員会が開催され、第60回の木材協会、第31回の木材産業協同組合の通常総会が、5月23日(土)午後2時より今年も高松市観光通りの太洋木材第1総合ビル3F会議室で開催することが決まりました。

木材協会会員の皆様には5月7日付けの往復はがきにより、開催のご案内をさせていただきます。多くの会員諸氏のご出席をお待ちしております。

木材産業協同組合の総会に関しては、決算関係書類を通常総会の召集通知と併せて組合員へ提供する必要があります。そのため「第31回通常総会議案書」と返信用はがきを併せて送付させていただきます。

恐れ入りますが木材産業協同組合の総会に、ご出席をいただく場合は、送付しました議案書を持参していただきますようお願いいたします。

ここ数年総会への本人出席者が減っております。総会は、会員・組合員の皆様から直にご意見を聞かせていただく機会です。多くの方々のご出席をいただきますようご案内いたします。

木造住宅等地域材利用拡大事業に取り組む

木材需要の冷え込みの影響を克服して、林業の成長産業化の実現と幅広い分野における総合的な木材需要拡大策を緊急に支援するために、平成26年度の補正予算で、木材需要拡大緊急対策事業が成立しました。

この事業は、戦後造林した人工林が本格的な利用を迎える中、この豊富な森林資源を循環利用して林業の成長産業化を実現することが急がれています。

こうした中、木材需要の約4割を建築用材が占めていますが、今年度の住宅着工戸数は昨年と比べて大きく減少することが見込まれており、木材需要の冷え込みが懸念されています。

木材需要の冷え込み等の影響を克服するとともに、地域における雇用創出を通じ地方創生に寄与し、林業の成長産業化を実現するための事業です。

香川県木材協会が取り組む事業の内容は、地域材の主な利用先である木造住宅を中心に地域材の利用拡大を図るため、関係者(木材利用ポイント推進協議会構成7団体)が連携をして、香川県産木材を使用した展示施設の整備を高松市サンポートシンボルタワー3Fかがわプラザで整備を進めています。施設が完成すると展示会を催して広く木材の良さをPRする拠点とします。

また、県産木材の展示として、木材市場では大工・工務店・建築士・木材業者等住宅建設に係る業者を対象に県産材の展示を2回程度開催する予定です。

大工・消費者向けには、ホームセンターで県産材の展示及び木工教室等を開催して、木材に親しんでいただくイベントを2回程度予定しています。

2015ウッドフェスティバルの会場では、原木から住宅部材までを展示して、県産木材の普及啓蒙に務めます。

今年のウッドフェスティバルは10月10日～11日の2日間を予定しております。これらの事業の実施にあたっては、皆様方の格別のご協力をお願いいたします。

アメリカ広葉樹セミナーが開催されます

アメリカ広葉樹輸出協会主催、香川県木材協会等の後援によるアメリカ広葉樹セミナーが7月1日午後3時30分より、JRホテルクレメント高松「飛天」で開催されます。

今回「自然と一体感のある空間づくり」と題して豊かな自然観を実感できる空間づくりの方法論から自然の味わいのある材料としてのアメリカ広葉樹製材の等級格付けや広葉樹市場の最新情報、内装設計の技法など、アメリカ広葉樹業界の現状や今後の方向性についてより深く知って頂くためにセミナーが開催されます。

セミナーのテーマは「木造住宅の近作を語る」「米国広葉樹市場に基づく最新の広葉樹製材等級格付け」「広葉樹の魅力を活かす塗料と塗装」「アメリカ広葉樹の合法性、持続可能と環境への対応」が予定されております。

セミナー終了後、7時30分よりレセプションがあります。

セミナーの参加費は無料です。但し定員100名で先着順ですので、参加希望の方は木材協会までお知らせ頂ければ参加申込書をFAXします。参加申込書により各自で申込みをしてください。

事務局だより

フォークリフトの特定自主検査は、1年に1回必ず受けることになっております。フォークリフトの特定自主検査は、香川県木材産業協同組合にご用命ください。
検査員 松添政志 氏